

株式会社ハイドロウィングラボ

2026年第1四半期（2025年12月25日～2026年3月25日）

中国 再生可能エネルギー 四半期レポート

China Renewable Energy Quarterly Intelligence Report

| | |
|--------|--|
| 調査対象期間 | 2025年12月25日～2026年3月25日 |
| 対象地域 | 中国（中国企業の海外活動を含む） |
| 対象分野 | 太陽光 / 風力（陸上・海上） / 水力・揚水 / バイオマス・バイオガス / 地熱・海洋エネルギー / BESS（蓄電池・新型蓄エネ） |
| 除外対象 | 水素・燃料電池単独記事・米国・欧州・日本発の情報 |
| 情報源 | 国家能源局 / IRENA / 新華網 / 中国証券報 / 各社プレスリリース |
| 調査言語 | 中国語（レポート本文は日本語） |
| 発行機関 | 株式会社ハイドロウィングラボ |
| 作成者 | シニアアナリスト（エネルギーシステム開発歴35年） |
| 発行日 | 2026年3月31日 |
| 定価 | 68,000円 |

本レポートは中国の公開情報（政府通知・企業発表・中国語メディア・証券アナリスト報告）に基づき独自に分析・編集したものです。投資・経営判断への利用は自己責任でお願いします。

目次

| | | |
|-----------|-----------------------------|-----------|
| 1 | エグゼクティブサマリー | 3 |
| 2 | 市場・政策動向 | 6 |
| 2.1 | 十五五エネルギー計画と再エネ政策 | 6 |
| 2.2 | 分散型太陽光管理弁法と電力市場化 | 6 |
| 2.3 | 市場規模・成長見通し | 7 |
| 2.4 | 地域別再エネ発展状況 | 7 |
| 3 | 技術動向（分野別詳細） | 8 |
| 3.1 | 太陽光発電 | 8 |
| 3.2 | 風力発電（海上・陸上） | 8 |
| 3.3 | 水力・揚水蓄エネ | 9 |
| 3.4 | バイオマス・バイオガス | 9 |
| 3.5 | 地熱・海洋エネルギー | 9 |
| 3.6 | 蓄電池・新型蓄エネ | 9 |
| 4 | 用途別動向 | 10 |
| 4.1 | ユーティリティ規模プロジェクト | 10 |
| 4.2 | 分散型電源・マイクログリッド | 10 |
| 4.3 | グリッド統合・電力市場 | 11 |
| 4.4 | データセンターと再生可能エネルギー | 11 |
| 5 | 主要ニュース詳細 | 12 |
| 5.1 | 太陽光・風力ニュース | 12 |
| 5.2 | 蓄エネ・水力・その他ニュース | 14 |
| 6 | 主要企業動向 | 17 |
| 7 | 投資・M&A動向 | 18 |
| 8 | 技術・市場の示唆（シニアコンサルタント） | 19 |
| 9 | 次四半期の注目ポイント | 22 |
| 10 | 参考情報・主要情報源 | 24 |
| 11 | 免責事項 | 25 |

1. エグゼクティブサマリー

>>四半期の重要トピック TOP7 (中国)

| # | トピック | 重要度 | カテゴリ |
|---|---|-----|-------|
| 1 | 中国の再エネ累計設備容量が23.4億kWに到達 --全電力の60%を占有 | 最重要 | 市場全体 |
| 2 | 光伏新規装機が初のマイナス成長 --2026年1-2月で32.48GW、前年比17.7%減 | 最重要 | 太陽光 |
| 3 | 十五五エネルギー計画で風光年間2億kW増を維持 --非化石比率2030年25%目標 | 最高 | 政策 |
| 4 | 海上風電が急成長 --2026年新規11-15GW見込み、前年比40%以上増 | 最高 | 風力/海上 |
| 5 | 寧徳時代が山東で100GWh超の蓄エネ拡産 --固体電池も中試線投産 | 高 | BESS |
| 6 | 三峡集団が11の揚水蓄エネを同時建設 --総装機1,630万kW | 高 | 水力/揚水 |
| 7 | 風電企業の海外進出加速 --金風/遠景/明陽がサウジ・英国・ブラジルへ | 中高 | 企業動向 |

>>四半期総括

2026年第1四半期の中国再生可能エネルギー市場は、「歴史的な規模達成」と「成長モデルの転換」という二つの大きな潮流によって特徴づけられた。2025年末時点で中国の再エネ累計設備容量は23.4億kWに到達し、全電力設備の約60%を占めるに至った。風力6.4億kW、太陽光12億kWの合計18.4億kWは全体の47%を占め、歴史的に初めて火力発電を上回った。

しかし一方で、光伏（太陽光）新規装機は初のマイナス成長に転じた。2026年1-2月の新規装機は32.48GWで前年同期比17.7%減となり、平価上網（FIT廃止）以来初の減少である。背景には分散型光伏管理弁法の施行による市場の様子見、電力市場化改革（スポット市場への移行）による収益率低下、電網消納圧力（一部地域での接続容量飽和）がある。2026年通年では180-240GWの新規装機が見込まれ、2025年の315GWから大幅減となる見通しである。

風力発電は対照的に好調で、2026年の新規装機は陸上120GW、海上10-15GWの計130GW以上が見込まれる。特に海上風電は前年比40%以上の急成長が予測される。蓄エネ分野では寧徳時代が山東済寧で100GWh超の大規模拡産を計画し、固体電池の中試線（パイロットライン）投産も進む。三峡集団は11の揚水蓄エネ电站を同時建設中で総装機容量は1,630万kWに達する。十五五エネルギー計画では新エネルギー発電装機比率50%超、年間2億kWの風光新規装機維持が打ち出され、中長期の成長路線は堅持されている。

1b. 再生可能エネルギー 分野別比較（中国市場）

| 分野 | 主要プレーヤー | 主用途 | 成熟度 | 四半期動向 |
|-------|-----------------------|-------------|-----|---|
| 太陽光 | 隆基 / 晶科 / 天合 / 通威 | ユーティリティ・分散型 | 商業期 | 1-2月32.48GW（前年比-17.7%）。TOPCon比率81%。PERC淘汰加速 |
| 陸上風力 | 金風科技 / 遠景能源 / 明陽智能 | 電力供給 | 商業期 | 2026年120GW見込。機組価格下行圧力。収益靱性あり |
| 海上風力 | 明陽智能 / 金風科技 / 上海電気 | 大規模電力供給 | 成長期 | 2026年11-15GW。前年比40%超増。広東21.4GW推進中 |
| 水力・揚水 | 三峡集団 / 国家電網 | ベースロード・蓄電 | 商業期 | 累計4.5億kW。三峡11電站1,630万kW同時建設 |
| バイオマス | 国能生物 / 各地方企業 | 熱供給・発電 | 商業期 | 累計0.47億kW。政策は因地制宜の開発推進 |
| 地熱 | 中石化新星 / 中石油 | 供暖・発電 | 発展期 | 雄安で2,000万m2供暖。直接利用は世界首位 |
| 海洋エネ | 中科院 / 各研究機関 | 潮流・波力 | 実証期 | 規模化利用を推進中。政策的な支援強化 |
| BESS | 寧徳時代 / 比亞迪 / 億緯リチウムエネ | RE統合・グリッド | 急成長 | 世界300GWh超。寧徳100GWh拡産。Na電池量産開始 |

>>重要マイルストーン展望（2026～2028）

| 時期 | マイルストーン | 企業/機関 |
|---------|--------------------------------|-------|
| 2026 Q2 | 浙江天台揚水蓄エネ170万kW全容量投産 | 三峡集団 |
| 2026 Q2 | 十五五エネルギー規画・再エネ規画の正式公布 | 国家能源局 |
| 2026 Q3 | 比亞迪重慶璧山20GWh固体電池量産線稼働 | 比亞迪 |
| 2026 Q3 | 分散型光伏管理弁法の市場影響が本格化 | 国家能源局 |
| 2026 | 風電年間新規装機130GW以上（陸上120+海上10-15） | 業界全体 |
| 2027 | 太陽光累計装機15億kW突破見込み | 業界全体 |
| 2027 | 寧徳時代Na電池の蓄エネ分野大規模応用 | 寧徳時代 |
| 2028 | 非化石エネルギー消費比率25%目標の中間評価 | 國務院 |

>>四半期のキーワード・トレンド

| トレンド | 内容 | 影響度 | 今後の展望 |
|----------|--|-----|----------------------------|
| 規模から価値へ | 光伏が初のマイナス成長。量的拡大から質的転換への分水嶺 | 最高 | 市場化改革が進み、収益性重視の選別が加速 |
| 海上風電の急成長 | 2026年11-15GW新規。広東・福建・山東が牽引。深遠海への展開 | 最高 | 十五五で年間1,500万kW以上の海上風電新規を計画 |
| 蓄エネの多元化 | Li-ion主流にNa電池・全バナジウム液流・圧縮空気が台頭。寧徳/比亞迪が固体電池推進 | 高 | 2026年は固体電池産業化の「鍵となる年」 |

続きは製品版でご覧いただけます

| | | | |
|---------|--------------------------------------|---|-----------------------|
| 企業の海外進出 | 金風・遠景・明陽がサウジ/英国/ブラジルに製造拠点を。風機輸出7.7GW | 高 | 中国再エネ企業のグローバル化が本格的に始動 |
|---------|--------------------------------------|---|-----------------------|

SAMPLE

続きは製品版でご覧いただけます

SAMPLE VERSION

中国 再生可能エネルギー産業 四半期レポート

本サンプルでは、全25ページのうち冒頭部分のみをご覧いただけます。

製品版には以下の内容が含まれます：

- エグゼクティブサマリー（完全版）
- 市場・政策動向の詳細分析
- 技術動向（種別・用途別の詳細）
- 主要ニュース詳細（月別整理）
- 主要企業動向
- 技術・市場の示唆（シニアアナリストコメント）

季刊単価（税別）

68,000円

ご購入・お問い合わせ

Email: masa.ogawa@hydrowinglab.co.jp

Web: <https://www.hydrowinglab.co.jp/#reports>